

令和6年度（化学）部の指導方針等について

令和6年4月30日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	
主顧問	吉田 敦		
副顧問	井上 雄介		
副顧問	本保 大地		

2 年間目標

- (1) 物質の性質や実験の基本操作、器具の正しい使用法を学ぶ。
- (2) 文化祭でこれまで研究した実験の発表を行い 化学の面白さを広める。
- (3) 個人研究・グループ研究を通して科学的思考力を身につける。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
 - ①活動は週に2日間とし活動時間は、平日2時間を基本とする。
 - ②実験の文献を複数調べ他の部員や指導教員にプレゼンする。
 - ③実験計画を立て、必要な器具を準備する。試薬を調整する。
 - ④安全に十分配慮し、指導教員の監督のもと実験を行う。
 - ⑤実験結果を考察し、レポートにまとめる。改善点を探す。
- (2) 練習や試合等の計画
 - ①安全かつ実験結果の明確な化学実験を行うため、十分に文献収集を行い、実験計画をたてる。
 - ②実験器具の基本操作を繰り返し練習する。
 - ③文化祭で化学の楽しさを多くの人に伝えられるよう、新しい実験に積極的に取り組む。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
生徒と十分にコミュニケーションをとり、体罰・暴力的指導のない活動を行う。

(2) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、同級生同士の暴力による問題解決を図ることがないように、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

外部指導員なし

5 主な年間計画

【活動日】

月曜日・(火曜日)・木曜日 15:30～17:00

学 期	月	内 容
1 学期	4	新入生歓迎会 (実験・観察会)
	5	実験操作実習
	6	文献実験
	7	文献実験
	8	文化祭発表実験準備
2 学期	9	文化祭研究発表
	10	文献実験
	11	研究活動
	12	研究活動
3 学期	1	研究活動
	2	研究活動
	3	研究活動